

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	1	推進体制の充実			
事業名	生涯学習推進協議会								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内には生涯学習・社会教育に関する機関・団体などがあるが、相互の連携による事業の展開が十分ではない。そこで、その機関・団体間の連携・協力体制を構築し、家庭・地域・学校を生涯学習・社会教育の場として総合的に捉え、市民一人ひとりが必要とする学習機会を適切に選択できる学習環境づくりを進める必要がある。		生涯学習推進協議会委員が生涯学習の振興を図るため生涯学習に関する諸計画の立案及び調査研究を行う。		生涯学習推進協議会会議の開催。	
活動指標			成果指標		
会議開催に要する予算額			会議回数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
48,000(円)		12,000(円)		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
1(回)		1(回)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	48,000	12,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		48,000	12,000	
合計		48,000	12,000	合計		48,000	12,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
平成23年度は会議を行うという成果は上げられたが、同じく社会教育課に事務局を置く社会教育委員会と内容的に似通っている部分があり、会議の目的に苦慮している。		会議の目的を明確にし、継続して開催すること。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	1	推進体制の充実			
事業名	社会教育一般管理事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
市内には生涯学習・社会教育に関する機関・団体などがあるが、相互の連携による事業の展開が十分ではない。そこで、その機関・団体間の連携・協力体制を構築し、家庭・地域・学校を生涯学習・社会教育の場として総合的に捉え、市民一人ひとりが必要とする学習機会を適切に選択できる学習環境づくりを進める必要がある。		市民に対して社会教育主事の専門的な指導により、生涯学習をさらに推進する。		山口県より社会教育主事1名の派遣を受け、生涯学習の振興を図るため生涯学習に関する諸計画の立案及び調査研究を実施。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
事業実施に要する予算額			社会教育主事派遣を受けた人数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2,672,000(円)		2,671,898(円)		1(名)		1(名)	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	2,672,000	2,671,898	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	2,672,000	2,671,898
合計		2,672,000	2,671,898	合計		2,672,000	2,671,898

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.6	3,624,600

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
生涯学習を推進するため専門的な指導・助言ができる人材が少ない。	社会教育主事を計画的に増やしていく。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート				課名	社会教育課	生涯学習係	No	3	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		1	推進体制の充実	
事業名	社会教育委員との連携								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(社会教育法)		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市内には生涯学習・社会教育に関する機関・団体などがあるが、相互の連携による事業の展開が十分ではない。そこで、その機関・団体間の連携・協力体制を構築し、家庭・地域・学校を生涯学習・社会教育の場として総合的に捉え、市民一人ひとりが必要とする学習機会を適切に選択できる学習環境づくりを進める必要がある。	社会教育委員が生涯学習の振興を図るため生涯学習に関する諸計画の立案及び調査研究を行う。	会議の開催	
活動指標		成果指標	
会議開催に要する予算額		会議の開催	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
148,000(円)	114,600(円)	2(回)	2(回)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	28,000	27,200	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	報酬	22,000	19,000		県支出金	()	
	旅費	93,000	65,400		地方債	()	
	需用費	5,000	3,000		その他	()	
					一般財源	()	148,000
合計		148,000	114,600	合計		148,000	114,600

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	302,050

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
より専門性を高めるため研修等の機会を充実させる必要がある。	県の研修等を積極的に活用する。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A	A
計画どおり事業を進めることが適当	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート				課名	社会教育課	文化振興係	No	1	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		2	社会教育施設の充実	
事業名	きらら交流館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	7	きらら交流館費
	細目	1	きらら交流館運営業務	細々目	1	きらら交流館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
宿泊研修、野外活動を通じての学習の場並びにふれあい及び交流の場の提供。	市民を対象に、宿泊研修、野外活動を通じての学習の場並びにふれあい及び交流の場の提供。	指定管理者による施設の管理運営を委託。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
運営に要する予算額		利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	99 %
23,555,000(円)	30,959,889(円)	160,000(人)	158,472(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	7,628,300	7,627,908	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	24,731	24,731		県支出金 ()		
	委託料	22,938,700	22,938,700		地方債 ()		
	備品購入費	368,550	368,550		その他 ()		
					一般財源 ()	30,960,281	30,959,889
合計		30,960,281	30,959,889	合計		30,960,281	30,959,889
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
開館して10年を経過し、施設の老朽化及び機器等の不備が不具合が増加している。また、衛生面や危険度が今後不安である。		計画的な施設の改修及び機器等の補修が必要。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート				課名	中央公民館		No	1	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		2	社会教育施設の充実	
事業名	本山公民館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営業務	細々目	2	本山公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
6,427,217(円)	6,252,955(円)	20,000(人)	18,819(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			95%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	13,800	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,731,104	1,731,104		県支出金 ()		
	役務費	154,113	100,524		地方債 ()		
	委託料	4,446,000	4,331,927		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	76,000	75,600		一般財源 ()	6,427,217	6,252,955
合計	6,427,217	6,252,955	合計	6,427,217	6,252,955		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	2	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	赤崎公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	3	赤崎公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
8,911,840(円)	8,431,776(円)	32,500(人)	26,513(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			82%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	1,660	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	2,450,635	2,391,732		県支出金 ()		
	役務費	112,733	100,052		地方債 ()		
	委託料	5,799,000	5,408,860		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	529,472	529,472		一般財源 ()	8,911,840	8,431,776
合計	8,911,840	8,431,776	合計	8,911,840	8,431,776		

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	423,360

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央公民館	No	3
----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実			
事業名	須恵公民館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営業務	細々目	4	須恵公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
6,498,432(円)	6,405,848(円)	11,000(人)	19,828(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			181%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	15,270	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,982,946	1,924,932		県支出金 ()		
	役務費	147,391	143,007		地方債 ()		
	委託料	4,150,000	4,125,344		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	198,095	197,295		一般財源 ()	6,498,432	6,405,848
合計	6,498,432	6,405,848	合計	6,498,432	6,405,848		

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	423,360

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	4	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	小野田公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	5	小野田公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1,032,000(円)	1,021,470(円)	15,500(人)	16,363(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			106%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	9,470	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	0	0		県支出金 ()		
	役務費	0	0		地方債 ()		
	委託料	1,012,000	1,012,000		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	0	0		一般財源 ()	1,032,000	1,021,470
合計	1,032,000	1,021,470	合計	1,032,000	1,021,470		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	5				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実			
事業名	高泊公民館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営業務	細々目	6	高泊公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
運営に要する予算額		利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	218 %
5,361,905(円)	5,346,166円)	9,200(人)	20,017(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	11,110	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	808,112	808,112		県支出金 ()		
	役務費	84,267	79,388		地方債 ()		
	委託料	4,233,000	4,231,950		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	216,526	215,606		一般財源 ()	5,361,905	5,346,166
合計	5,361,905	5,346,166	合計	5,361,905	5,346,166		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	6				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2 社会教育施設の充実				
事業名	高千帆公民館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営業務	細々目	7	高千帆公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
運営に要する予算額		利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	91 %
1,158,000(円)	1,106,072(円)	30,000(人)	27,164(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	10,000	4,514		県支出金 ()		
	役務費	78,000	60,558		地方債 ()		
	委託料	1,041,000	1,041,000		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	9,000	0		一般財源 ()	1,158,000	1,106,072
合計	1,158,000	1,106,072	合計	1,158,000	1,106,072		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	7	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	有帆公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	8	有帆公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
6,126,656(円)	5,988,418(円)	27,000(人)	26,081(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			97%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	15,090	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,502,307	1,496,715		県支出金 ()		
	役務費	158,349	122,617		地方債 ()		
	委託料	4,370,000	4,278,396		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	76,000	75,600		一般財源 ()	6,126,656	5,988,418
合計	6,126,656	5,988,418	合計	6,126,656	5,988,418		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	8				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2 社会教育施設の充実				
事業名	厚狭公民館管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営業務	細々目	33	厚狭公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
運営に要する予算額		利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	106 %
5,985,726(円)	5,926,492(円)	23,000(人)	24,281(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	19,850	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	2,464,680	2,461,434		県支出金 ()		
	役務費	101,046	77,238		地方債 ()		
	委託料	3,210,000	3,187,790		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	190,000	180,180		一般財源 ()	5,985,726	5,926,492
合計	5,985,726	5,926,492	合計	5,985,726	5,926,492		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	9	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	出合公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	34	出合公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4,694,918(円)	4,600,267(円)	12,500(人)	11,950(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			96%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,387,918	1,321,234		県支出金 ()		
	役務費	61,000	55,738		地方債 ()		
	委託料	3,037,000	3,034,295		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	189,000	189,000		一般財源 ()	4,694,918	4,600,267
合計	4,694,918	4,600,267	合計	4,694,918	4,600,267		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	10	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	厚陽公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	35	厚陽公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4,361,758(円)	4,320,348(円)	14,000(人)	13,903(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			99%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	1,380	財源(割内訳)	国庫支出金	()	
	需用費	1,423,476	1,405,817		県支出金	()	
	役務費	104,101	104,101		地方債	()	
	委託料	2,580,000	2,576,545		その他	()	
	使用料賃借料ほか	234,181	232,505		一般財源	()	4,361,758
合計	4,361,758	4,320,348	合計		4,361,758	4,320,348	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	33-2
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名 図書館管理運営事業					
款 10		教育費		項 5	
目 3		社会教育費		目 3	
細目 1		図書館運営業務		細々目 2	
厚狭図書館管理運営費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別	
				継続	
				経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
合併により厚狭図書館は地域館という位置づけになった。 厚狭館を古い伝統文化を背景とした山陽地区の中核的な社会教育施設・地域の情報センターとして位置づけ、施設の維持管理、図書館資料の整備・充実を図っている。		市民を対象に、地域の情報センターとして、生涯学習の支援・援助を行う。また、社会教育の観点から、個人・家庭・地域の教育力の向上に資することを目的とする。		資料の選択、購入、整理、貸出し、レファレンス等のほか、テーマを決めた資料展示などにより、市民が求める情報発信に努めている。 また、市民が施設を安全・快適に利用できるよう施設清掃、設備保守、剪定除草などの業務委託を実施している。	
活動指標			成果指標		
利用者数			年間貸出資料数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
34,000人		33,820人		95	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
90,000冊		85,752冊			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	3,844,865	3,844,865	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	使用料及び賃借料	2,554,672	2,526,256		県支出金 ()		
	委託料	2,440,035	2,377,856		地方債 ()		
	備品購入費	1,819,000	1,818,888		その他 ()	49,000	97,080
	その他	112,805	109,661		一般財源 ()	10,722,377	10,580,446
合計		10,771,377	10,677,526	合計		10,771,377	10,677,526
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.5	5,722,714				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
地域の情報センターとしてだけでなく、地域館としての特徴を鮮明にしなが、特色ある取組みが求められる。		テーマを決めた資料展示やコーナー・企画の充実を進める。また、職員研修等を通じて、レファレンスサービス等の充実を進める。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	2
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名 図書館配本回収連絡事業					
款 10 教育費		項 5 社会教育費		目 3 図書館費	
細目 1 図書館運営業務		細々目 2 厚狭図書館管理運営費		会計種別 一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>合併後、読書推進の一環及び市民の利便性の向上を図るため、公民館等を中継点とした貸出本の配本・回収を行っている。</p> <p>また、このための巡回を利用した関係施設・市役所・中央館との情報連絡・庶務等を行っている。</p> <p>また、合併前から、関係施設等への移動文庫、各小学校の学級文庫を行い、図書利用の便宜を図っている。</p>		<p>来館が困難な山陽地区の貸出利用者へ、配本・回収の便宜を図ることにより図書利用を増やし、もって広く教育力の向上につなげていくもの。</p>		<p>山陽地区の各公民館、津布田会館にブックポストを設置しており、このポストからの回収、ポスト設置施設を中継点としての貸出本の配本を行っている。</p> <p>移動文庫は山陽地区の7箇所毎月図書の更新を行っている。</p> <p>学級文庫は地区内の各小学校の各学級を対象に学期毎の図書更新を行っている。</p>	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
活動対象施設数		年間活動日数			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100	
16施設	16施設	153日	153日	%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	265,956	265,956	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	43,222	43,222		県支出金 ()		
	公課費	38,000	30,000		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		347,178	339,178	
合計		347,178	339,178	合計		347,178	339,178
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.36	1,721,644				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
各施設の移動文庫については、利用度が高くないところもあろうと思われるが、実情の把握はしていない。	需要に応じた供給という観点から、他の事業との兼ね合いの中で、必要に応じ実情を把握し、適切な対応をすることが必要。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央図書館	No	33-1
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)	
15 家庭や地域社会の教育力の向上	1 社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名 図書館管理運営事業			
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	3 図書館費		
細目	001 図書館運営業務	細々目	01 中央図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)		自治事務	()
		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
家庭や地域社会の教育力の向上のため、市立図書館を設置。図書館の本来の目的である知識と情報の収集、蓄積、活用をより推進し、知識の提供及び情報の発信を図るとともに、読書啓発のための事業を実施し図書館の利用増進を図る。また、図書館が利用者にとって安全で快適な施設となるよう、継続的な施設の保守・維持管理と施設の老朽化に伴う計画的な修繕・補修が必要である。	対象：市民 目的・意図：社会教育の中核施設である図書館の機能充実のため、図書館資料の整備、充実を図るほか、資料展示や情報コーナーの充実により図書館の利用増進を図り、家庭や地域社会の教育力の向上を図る。また、図書館利用者が安全で快適に施設を利用できる環境を確保するため、図書館施設の保守及び維持管理を行う。	資料の選書、購入、貸出、レファレンス等の図書館業務のほか、定期的な資料展示、子育て支援情報コーナー、健康づくりコーナー等の充実により地域に根ざした情報の提供や発信を行う。	
活動指標		成果指標	
利用者数		貸出冊数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
130,000(人)	131,230(人)	250,000(冊)	243,251(冊)
93.6 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	11,760,000	9,841,366	財源(内訳)	国庫支出金	()	
	需用費	10,576,000	13,018,447		県支出金	()	
	備品購入費	4,440,000	4,458,071		地方債	()	
	その他	1,640,642	1,098,758		その他	()	
合計	28,416,642	28,416,642	一般財源		(100%)	28,416,642	28,416,642
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		10.9	29,433,125	28,416,642 28,416,642			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
入館者数は増えているが、貸出数が減っている。今後、地域の情報センターとしての機能向上を図りながら、利用増進を図る必要がある。	コーナーの充実や蔵書・資料等を活用しながら、利用増を図る。また、職員研修等を通じて、レファレンスサービス等の充実を進める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央図書館		No	2	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	図書配本回収連絡事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	001	図書館運営業務	細々目	01	中央図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成7年の中央図書館開館と同時に読書推進の一環及び市民の利便性を図るため、市内各公民館へブックポストが設置され、このブックポストに返却された貸出図書の回収や分館、厚狭図書館への配本・回収・連絡のため、図書配本回収連絡事業として発足し、職員が公用車を使用して実施している。山陽地区は平成17年合併時より厚狭図書館を中心に同事業を開始した。	対象：図書館利用者 目的・意図：市民に図書館蔵書を貸出した後、返却する際に市内各公民館等の最寄りのブックポストからでも本を返却できるよう市民サービスを向上し、蔵書の利用向上を目指し配本車両で回収することとした。また、インターネットで予約した本を近くの公民館で受け取ることもできる。	毎週火曜日と金曜日に、配本車両で職員2名が分館や各公民館及び山口東京理科大学を巡回し、ブックポスト等に返却された図書の回収や予約図書の配本を実施している。また、団体貸出サービスによる図書の配本及び回収を実施。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
対象施設数		配本回収回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
11(施設)	11(施設)	103(回)	103(回)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	106,560	79,154	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	(100%)	106,560
合計		106,560	79,154	合計		106,560	79,154

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.45	1,561,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
市民サービスの向上や早期回収により蔵書の利用増進を図るために行っているが、高齢者や障がい者に宅配ができていない。	宅配ボランティアを養成する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央図書館		No	3	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	図書館管理運営事業(住民生活に光をそそぐ交付金事業)					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	001	図書館運営業務	細々目	01	中央図書館管理運営業務
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	新規	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成7年の開館から使用している駐車場の1台の幅が2.25mで、かなり狭く、白線がほとんど消えている。また乗用車が大型化しているため、駐車場の駐車幅の拡大及び白線の引き直しを行い安全で快適に施設を利用できる環境を確保する。また、その他老朽化した設備の修理が必要。	駐車場を整備することにより、利用者が安全で快適に図書館を利用できる環境を確保する。また、平成24年で18年目を迎え、施設の複数個所が、老朽化が進んでいるので、計画的に設備の更新を行う。	一般用の駐車場は、幅2.5m程度の区画線を引き、それが難しい箇所は、現状の幅のまま白線を引く。公用車庫前の駐車禁止ゾーンに3台分の区画線を引いて、駐車台数の確保を図る。また、読書コーナーの畳の入れ替え、雨漏り、外灯柱の補修などを行う。	
活動指標		成果指標	
入館者数		貸出冊数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
130,000(人)	130,170(人)	250,000(冊)	243,251(冊)
			成果指標の到達度(B/A)
			93.6%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	680,799	680,799	財源(割内合訳)	国庫支出金	()	2,899,998
	工事請負費	2,114,700	2,114,700		県支出金	()	
	委託料	104,499	104,499		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源				
合計	2,899,998	2,899,998	合計	2,899,998	2,899,998		

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		生涯スポーツ課		No	1				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実			
事業名	青年の家管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青年の家費
	細目	1	青年の家運営業務	細々目	1	青年の家運営業務	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	經常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
昭和51年の開設以来、山陽スポーツ協会所有のスポーツ施設や糸根公園を合わせ約7万㎡の広大な自然環境のもと、青少年の研修・宿泊施設として利用してきた。平成18年から耐震性等の問題で、研修棟の宿泊部分は休止しており、日本で2番目に古いプラネタリウムのある天文館の業務及び施設整備を行っている。しかしながら、施設は老朽化による雨漏り、破風のがあったりしている。修繕料予算も思うように付かない状況である。		社会教育、青少年教育の一環として、利用者に天文館のプラネタリウムを利用していただく中で、非日常体験、星座・宇宙に知識・関心を持っていただく。糸根公園も含め、広大な敷地を活かし、市民に憩いの場を提供している。		当課職員が兼務し、青年の家の臨時職員と業務にあっている。天文館については、ボランティアの協力を得ながら運営している。プラネタリウムを市民にアピールし、「プラネタリウムの会」の会員増に知り組んでいる。隣接のスポーツ施設を常用している方々のボランティアによる清掃が行われている。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
職員自らによる修繕回数			年間青年の家利用者数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
5回		5回		2,200人		2,281人	
104 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,049,058	1,947,721	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	120,000	92,889		県支出金 ()		
	委託料	1,656,312	1,656,312		地方債 ()		
	工事請負費	2,194,500	2,194,500		その他 ()	66,000	71,160
	その他	102,200	98,110		一般財源 ()	6,056,070	5,918,372
合計		6,122,070	5,989,532	合計		6,122,070	5,989,532
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.05	2,639,210				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
施設の老朽化が激しく、安全性に問題がある。		植生地区の公共施設の見直しの中で、速やかに適切な処置がなされるべき。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他	平成24年度より社会教育課で管理運営を行う。		

平成23年度 事務事業評価シート

課名		生涯スポーツ課		No	2				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2 社会教育施設の充実				
事業名	山陽スポーツ協会管理運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青年の家費
	細目	1	青年の家運営業務	細々目	1	青年の家運営業務	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
昭和52年に日本小型自動車振興会の補助金により、財団法人として設立したもの。青年の家に隣接の体育館、運動広場、テニスコートを所有し、年間2万人を超す利用者があった。これに対する運営、施設管理を当課職員が兼務し、青年の家の臨時職員と任務にあたってきた。公益法人制度改革により、今年度で法人を解散し、財産を市に寄附することにした。		埴生地区を中心に、柔道・空手を中心としたスポーツ少年団、地域住民の生涯スポーツ、住民スポーツ大会等で利用され、スポーツを中心とした地域コミュニティに貢献した。		地域ボランティアとの連携をとりながら、運営管理、施設整備を行ってきた。平成24年度からは、市に財産が寄附されるため、市(社会教育課)が施設を運営する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
職員自らによる修繕回数			年間施設利用者数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
8回		5回		26,000人		23,594人	
91 %							

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金		3,500,000	3,500,000	財源(割内合訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
						一般財源	()	3,500,000	3,500,000
合計			3,500,000	3,500,000	合計		3,500,000	3,500,000	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		1.45	3,203,690						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
適切な解散処理。			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	平成24年度より青年の家に附帯する体育施設として管理運営を行う。		

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	1	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	埴生公民館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	36	埴生公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4,635,067(円)	4,559,819(円)	15,000(人)	15,940(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			107%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,434,067	1,387,579		県支出金 ()		
	役務費	71,000	68,825		地方債 ()		
	委託料	2,924,000	2,918,195		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	186,000	185,220		一般財源 ()	4,635,067	4,559,819
合計	4,635,067	4,559,819	合計	4,635,067	4,559,819		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	423,360				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	2	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	2	社会教育施設の充実
事業名	津布田会館管理運営事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営業務	細々目	37	津布田会館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館施設開設に伴い発生。	地域住民に対して、安全で利用しやすい快適な施設運営を図る。	地域の生涯学習の拠点として機能するように、経常的な維持管理を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に要する予算額		利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
3,182,481(円)	3,096,694(円)	8,800(人)	7,664(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			88%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	120,800	120,800	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	740,906	693,510		県支出金 ()		
	役務費	64,775	64,574		地方債 ()		
	委託料	2,117,000	2,114,700		その他 ()		
	使用料賃借料ほか	139,000	103,110		一般財源 ()	3,182,481	3,096,694
合計	3,182,481	3,096,694	合計	3,182,481	3,096,694		

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	423,360

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成20年度より公民館運営を地域に委託しており、平成22年度には9館が移行し、平成23年度では全館が委託館となった。民間から館長が選ばれるため、館長のスキルアップを図っていく必要がある。	2か月ごとに開催している公民館長会議において社会教育主事が館長を対象に研修を行い、運営に関する指導・助言の場を設けるなどのサポート体制の充実を図る。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	1
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名 マタニティブックスタート事業					
款 10		教育費		項 5	
細目 1		図書館運営業務		細々目 2	
		厚狭図書館管理運営費		目 3	
				会計種別 一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別 継続 経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
ブックスタート事業は、英国で絵本を贈る育児支援として始まり、国内では平成12年にスタートした。本市では、15年度から、全国でも例を見ない妊娠中のお母さんに絵本を選んでもらい、おなかの赤ちゃんへ語りかけるマタニティブックスタートとして事業を開始した。以前は保健センター職員が本を渡していたが、21年度からは図書館職員が本を渡すこととし、図書館職員による事業の趣旨の説明と読み聞かせの指導をしている。		妊婦を対象に、母親が絵本を持って胎児へ語りかけることにより、妊婦と胎児双方への情操を高めさせるとともに、「親から乳幼児への読み聞かせ」「本に親しむことのできる子ども」へとつなげていく端緒とするもの。		図書館職員が保健センターで、母子手帳を受けた妊婦に対し、事業の趣旨説明、図書館が選んだ絵本のブックトーク、読み聞かせ方法を指導。3冊のうち1冊を選んでもらい、おなかの赤ちゃんへの語りかけの方法を説明し、ブックスタートパック(絵本1冊、リーフレット、赤ちゃん絵本のリスト、布製バッグ)をプレゼントしている。	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
年間絵本交付冊数		母子手帳被交付者に対する絵本交付率		100	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	%	
109冊	109冊	100%	100%		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	59,150	59,150	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
合計	59,150	59,150	一般財源		()	59,150	59,150
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計	59,150	59,150	
		0.31	1,419,594				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	2
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名 おはなし隊事業					
款 10		教育費		項 5	
目 3		社会教育費		目 3	
細目 1		図書館運営業務		細々目 2	
厚狭図書館管理運営費		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別	
				継続	
				経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
本に出会うことのできる環境づくりはマタニティブックスタートから始まるが、幼児期・就学前児童に対しては、特に行政としての取り組みはなかった。このため、平成22年度から、山陽地区の幼稚園・保育園に対し、園に出向き本の読み聞かせ活動を「おはなし隊」として始めた。		山陽地区内の幼稚園(2園)・保育園(1園)へ、図書館職員がおはなし隊として出向き、園児への紙芝居(テレ芝居)、読み聞かせを行い、園児とふれあう中で、絵本への愛着、その後の本・図書館への親しみへと、つなげようとするもの。		幼稚園・保育園に2か月に1回の割合で職員3~4人が出向き、テレ芝居、職員が分散しての読み聞かせ等で園児とのふれあいを持つ。 園へ出向いた折に50~100冊の絵本を園へ一定期間、貸与している。	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
年間活動回数		活動対象園数/山陽地区内の幼保育園数		100	
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	
18回		18回		27%	
				27%	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.31	1,419,594

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
地区内の幼稚園(2園)・保育園(1園)だけでなく、今後は保育園等、多くの就学前児童に対し、おはなし隊事業を拡大していきたいが、他の事業や職員数の関係で一気には進められない。	新しく有意義な事業の対象範囲を広げるためには、職員の増員が必要。 また、読み聞かせボランティアの育成・活用の検討も方法として考えられる。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	3
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名 出前図書館事業					
款 10 教育費		項 5 社会教育費		目 3 図書館費	
細目 1 図書館運営業務		細々目 2 厚狭図書館管理運営費		会計種別 一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>子どもの読書離れの中、国は平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定、県も16年に『県子ども読書推進計画』を策定した。本市も18年9月に「市子ども読書活動推進計画」を策定した。この計画に基づき、本市の図書館として19年度から「出前図書館」と称して、中央館と協力して市内小・中学校に出向き、児童・生徒を対象にした図書館の利用案内、おすすめ本の紹介、本の閲覧・貸出を行っている。</p>		<p>対象：市内の小・中学校の児童・生徒 目的・意図：児童・生徒が良い本と出会え、読書習慣が身につくよう、読書推進の援助をするもの。</p>		<p>図書館職員が各学校に年1回の割合で出向き、児童・生徒を対象に図書館の説明、利用案内、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、閲覧・貸出を多目的ルームや体育館で実施する。 また、図書担当教諭に対して図書室運営の助言等も併せて行う。 なお、持参図書数は、対象児童・生徒1人あたり2冊程度。</p>	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
年間活動回数		年間配本冊数		100	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	%	
18	18	800	800		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
				一般財源 ()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	1,476,042				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
<p>図書購入予算が少ないため、団体貸出用図書に限られ、児童・生徒が興味を持つような新刊本の貸出希望に応えられないことが多い。</p>	<p>図書購入予算の増額。</p>

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	4				
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実				
事業名	その他の読書活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	図書館費
	細目	1	図書館運営業務	細々目	2	厚狭図書館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順				
図書館が主体的に行う読書活動の推進事業だけでなく、市民ボランティアによる読み聞かせグループや読書会サークル、公民館等の公共施設、小・中学校の図書室に対して公立図書館として側面支援を行うもの。		読み聞かせボランティアグループ、読書会サークル、公民館等公共施設や小・中学校の図書室を支援することにより、多くの市民、子どもたちが、より多く本に親しむことができる環境をつくることにより、地域の教育力の向上に努めるもの。		公民館等公共施設でのテーマ本の展示、公民館等公共施設、小・中学校の図書室のリニューアルアドバイス、おはなし会の委託、読み聞かせボランティアグループ・読書会サークルへの会場提供、配本支援を行っている。				
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)			
年間読書会等活動回数			年間参加者数					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100 %
85回		85回		361人		361人		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)		
支出内訳	報償費	75,000	75,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()			
					県支出金	()			
					地方債	()			
					その他	()			
合計	75,000	75,000	一般財源		()	75,000	75,000		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計				75,000	75,000
		0.31	1,419,594						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館		No	5				
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実				
事業名	社会教育推進事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	図書館費
	細目	1	図書館運営業務	細々目	2	厚狭図書館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>合併により厚狭図書館は地域館という位置づけになった。厚狭館を古い伝統文化に育まれた山陽地区の社会教育の中核施設、地域の情報センターとして地域住民の期待に応え、発展させていかなければならない。</p> <p>社会教育、生涯学習に関わる各種行事・イベントを企画・実施し、地域住民の教育力の向上に資するとともに、図書館利用者の増大に努めようとするもの。</p>		<p>市民に対し、地域の教育力の向上、図書館利用者の増大を図る。</p>		<p>生涯学習教室(俳句教室、古文書学級)の主催、各種講演会、各種の企画展示、単発教室の開催、文化財めぐり等を実施。</p>	
活動指標			成果指標		
年間行事開催回数			年間参加者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
61回		61回		84%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
2,000人		1,687人			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	222,322	222,322	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	報償費	200,000	200,000		県支出金	()	
	役務費	51,973	51,203		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	474,295	473,525
合計		474,295	473,525	合計		474,295	473,525

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	1.84	8,851,229

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		厚狭図書館			No	6
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	社会教育支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	細目	1	図書館運営業務	細々目	2	厚狭図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
厚狭図書館を利用する地域住民を中心とした自主的な生涯学習グループを支援することにより、地域の教育力の向上、図書館利用者の増大につなげようとするもの。	地域の自主的な生涯学習グループを支援することにより、地域の教育力の向上、図書館利用者の定着・増大を図る。	自主的な生涯学習教室(現在9教室)に対する会場提供。 厚狭図書館友の会、文化財愛護会との相互協力。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
年間行事開催回数		年間参加者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	58 %
162回	162回	2,000人	1,168人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
合計		0	0	一般財源		()	
				合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.41	2,023,694

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	社会教育関係団体等の育成・支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
近年、情報化が進む一方、人間関係の希薄化による家庭や地域の教育力の低下、価値観の多様化など、教育を取り巻く環境は大きく変化している。そのため、地域社会におけるスポーツ・文化活動、ボランティア活動の促進などを通じて、子どもたちの豊かな人間性を育み、家庭や地域社会の教育力の向上を図る必要がある。		社会教育関係団体(青年団体連絡協議会、連合女性会、校区女性会、小中学校PTA連合会)の運営費または事業費の全部または一部を補助することにより社会教育の振興を図る。		社会教育関係団体の申請により補助金を交付。	
活動指標			成果指標		
補助に要する予算額			交付団体数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		81	
1,205,102(円)		1,098,000(円)		11(団体) 9(団体)	
					%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	1,206,000	1,098,000	財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	1,206,000	1,098,000
合計		1,206,000	1,098,000	合計		1,206,000	1,098,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.4	2,416,400				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
申請手続きが煩雑なため市職員が関わらざるを得ない。		各団体の役員も毎年変わるケースがあるため手続きの周知後すぐに改善するわけではないが、申請スケジュールも含め徐々に申請方法を周知し団体に申請してもらえよう促す。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	学習機会の整備・充実								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、施設・設備の機能充実を図るとともに、社会教育に関する機関・団体間の連携による学習環境の充実が求められている。さらに、家庭や地域社会で生じている社会的な課題に対する意識の高揚や社会参加につながるよう、学習機会の充実を図る必要がある。		市民の多様な学習成果を地域社会での様々な活動に活かせるシステムを整備し、家庭や地域社会で生じている社会的な課題を解決する。		家庭や地域社会で生じている社会的課題に対する講座などのうち、全市民的な取り組みが求められる講座等の学習機会を充実させる(女と男のいきいきカレッジ、高齢者学級)。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
講座の開催回数			参加者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		82 %
18(回)	15(回)	300(人)	246(人)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	60,000	51,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	使用料及び賃借料	80,000	80,000		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	140,000	131,000
合計		140,000	131,000	合計		140,000	131,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,812,300				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
開催場所が旧小野田地区のため旧山陽地区からの参加者が少ない。山陽地区での施策の充実。	高齢の方の交通手段はバス、電車のため会場を山陽地区に移すことで改善されるとは限らない。参加したくなる学級づくりのため講座内容の魅力アップに努める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	成人式開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
青年が大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとすることを祝い励ますことを目的に始まったもの。		新成人(満20歳の市民)を祝い励ますことで、大人としての自覚を促すとともに、ふるさと「山陽小野田市」に愛着をもってもらう。		成人式の開催。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
開催に要する経費			出席者の割合				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
315,887(円)		315,887(円)		75(%)		84(%)	
112 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	78,000	39,732	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	報償費	303,000	244,320		県支出金 ()		
	役務費	31,000	23,835		地方債 ()		
	使用料及び手数料	8,000	8,000		その他 ()		
					一般財源 ()	420,000	315,887
合計		420,000	315,887	合計		420,000	315,887

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.4	2,416,400

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
昨今「荒れる成人式」に形容されるように新成人の当日の動向ばかりに目が行き、本来の目的である新成人を祝い励ます場というより当日のスタッフの確保など特に運営面に注意を払わざるを得ない。	新成人にとっては久しぶりに旧友と再会する貴重な場ではあるものの主催者としては円滑に式が進行するよう当日スタッフの確保や運営の配慮に努める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当		A
	計画どおり事業を進めることが適当		

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	4	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		3 社会教育活動の充実	
事業名	花いっぱい運動							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	目	1	社会教育管理業務		細々目	1	社会教育一般管理費	
事務区分(根拠法令)		自治事務			()		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
花を育て花に親しむことをとおして、環境の美化、青少年健全育成、地域連帯感の醸成などを図る。		市民が花を育て花に親しむことをとおして、環境の美化、青少年健全育成、地域連帯感の醸成などを図る。		花壇コンクールを実施し、優秀な団体及び個人を表彰する。フラワーマップを作成し、ホームページに掲載する。	
活動指標			成果指標		
花いっぱい運動参加団体数			花壇コンクール参加団体数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
60(団体)		61(団体)		76	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
50(団体)		38(団体)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	438,000	437,560	財源(割内訳)	国庫支出金	()	
	需要費	239,000	143,353		県支出金	()	
	報償費	75,000	61,600		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	752,000	642,513
合計		752,000	642,513	合計		752,000	642,513
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,718,450				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
育苗を委託している厚陽地区緑と花の推進協議会の会員減少により相対的に団体の負担が増加しており、将来も種から育てた苗配布が可能かどうかの課題がある。		新たな育苗拠点としてみつば園と委託契約(ただし苗場の面積が少ないことと厚陽地区緑と花の推進協議会のように花に対し専門的な知識がないため今以上の本数の育苗は困難)。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央図書館	No	1
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)	
15 家庭や地域社会の教育力の向上	1 社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名 読書会等読書普及事業			
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	3 図書館費		
細目	001 図書館運営業務	細々目	01 中央図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)		自治事務	()
		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
昭和43年に婦人の教養を深める場の一環として当時の図書館長が講師となり読書会が発足。また図書館のほか、公民館でも開催している。また市民の要望により平成4年から児童文学講座が開始。現在は図書館講座、文化講演会、おはなし会等を実施。	対象：市民 目的・意図：市民の社会教育活動の充実と学習機会の増進を図る。	読書会については、図書館の会議室において、同一の著書を会員で読み意見を発表しあい教養を深める。毎年読書会会員による文集を作成。 児童文学講座は、講師に児童文学作家の村中李衣氏を招いて毎月1回開催し、会員の教養を深め、子どもや大人にも「読みあい」の輪を広げている。また、図書館講座や文化講演会を年間計画に基づき随時開催する。	
活動指標		成果指標	
読書会等開催回数		参加者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
120(回)	110(回)	2,400(人)	2,341(人)
93.5 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	260,000	260,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	(100%)	260,000
合計		260,000	260,000	合計		260,000	260,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.6	4,453,654				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・図書購入費が十分でないため、読書会、おはなし会用の図書が購入できていない。他館から借りる場合は、貸出館の都合により、会員の希望に副えないことがある。児童書(特に絵本)の購入ができないため、おはなしの会に支障がある。	・魅力ある蔵書の更新のため、図書購入費の増額 ・文化講演会を開催するための講師謝礼の増額。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央図書館	No	2
----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	出前図書館事業(病院)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	3	図書館費
	細目	001	図書館運営業務	細々目	01	中央図書館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
入院中であっても気軽に読書のできる環境づくりと正しい健康・医療情報の提供が求められている。このような背景から、平成22年9月から「病院出前図書館」を開始した。	対象：山陽小野田市民病院、小野田赤十字病院及び山口労災病院の入院患者 目的・意図：入院中の患者に趣味としての読書をサポートすると共に、病気に対する正しい知識と治療に役立つ情報を提供する	毎月1回、対象3病院に本を持参し、入院患者への図書の貸出を行う。また、読みたい本のリクエストがあれば応じる。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
実施回数		貸出冊数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	96.9 %
40(回)	36(回)	9,000(冊)	8,721(冊)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	9,000	9,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		9,000	9,000	一般財源 (100%)	9,000	9,000	
				合計	9,000	9,000	

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.45	1,098,020

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・図書館が用意して持っていく本と患者さんが利用したいと思う本が異なっている。	・リクエストを中心に本の選書をする。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央図書館		No	3	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	マタニティブックスタート事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	001	図書館運営業務	細々目	01	中央図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
ブックスタートは平成4年に英国で、絵本を贈る育児支援運動として始まった。国内では平成12年に全国31市町村でスタート。本市では、平成15年度に市内在住の児童文学作家で梅光学院大学教授の村中李衣氏が中心となって推進し、育児で忙しい母親は絵本にまでなかなか心が向かない現状の中で、妊娠中の母親へ母親自身が選んだ絵本を配布し、お腹の赤ちゃんへ読み聞かせるという全国でも例をみない本市独自の方法として確立した。	対象：妊婦(母子手帳交付対象者) 目的・意図：母親がお腹の赤ちゃんに絵本を読み聞かせて、親子でゆったりとしたひとときを過ごしてもらう運動を進めることにより、母親及び乳幼児が早くから本に出会うことができる環境づくりを提供する。	市立図書館や市保健センターで図書館が推薦する3冊の絵本から1冊を選んでもらい、お腹の中の赤ちゃんへ読み聞かせをする方法を説明しながら、その場でブックスタートパック(絵本1冊、ブックリスト、図書館案内、布製のパック)をプレゼントする。	
活動指標		成果指標	
絵本の交付冊数		母子手帳交付人数に対する絵本の交付率(厚狭含む)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
180(冊)	153(冊)	60(%)	55%
			92%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	519,400	331,275	財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100%)	519,400	331,275
合計		519,400	331,275	合計		519,400	331,275
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	705,600				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・交付対象者に事業内容が周知徹底できていない。 ・交付後は図書館で乳幼児を対象とした絵本のおはなし会を開催しており、そちらは参加者も増加しつつあり定着してきているので、読書に関心のある母親は積極的にブックスタートパックの交付を受け、おはなし会にも参加していると思われる。今後は、あまり関心のない母親にどのような興味を持ってもらうか検討が必要。	・事業周知方法の検討 ・交付方法の検討
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	1				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	公民館運営審議会事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	1	公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (社会教育法)		予算種別	継続	経常			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
社会教育法第29条第1項に基づき、条例で山陽小野田市に一つの公民館運営審議会を設置。年2回(5月、11月)の会議を開催。		公民館運営審議会委員が公民館事業・運営について審議する。		会議の開催、公民館主催の各種行事への参加依頼。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
会議開催に要する予算額			会議回数		
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
28,000(円)		23,000(円)	2(回)	2(回)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	28,000	23,000	財源(割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	28,000	23,000
合計		28,000	23,000	合計		28,000	23,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
平成13年7月11日に社会教育法が改正され、「公民館に公民館運営審議会を置く。」から「置くことができる。」と出来る規定になった。		各地区に設置している公民館運営協議会や社会教育委員会において会議を代えられるか検討する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート				課名	中央公民館		No	2
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		3	社会教育活動の充実
事業名	公民館連絡調整事業							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	目	1	公民館運営事業		細々目	1	公民館一般管理費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順		
公民館(津布田会館含む)は、12の各小学校区に設置された生涯学習の拠点であり、多くの市民や団体等の利用があるが、その多くは老朽化が進み、備品等も含めて修繕や改修が必要となってきた。公民館の管理運営を公平かつ計画的に進めるため、中央公民館を設置し、その支援や調整を図る。		中央公民館で諸事務の調整を行うことで、各施設の均衡調整を図る		各館が抱える問題や共通課題の解決を図るため、定期的な連絡会議の開催や情報の提供・共有を図る。また効率的な予算配分・執行を行う。		
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
参加公民館数			公民館長会議、公民館主事会議開催回数			
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		75
12(館)		12(館)		12(回)		
				実績値B(単位)		%
				9(回)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	3,150,000	3,037,597	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	3,150,000	3,037,597
合計		3,150,000	3,037,597	合計		3,150,000	3,037,597
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	4,228,700				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
委託館の経費を適正に管理・削減するため、館の維持管理に要する経費を中央公民館で管轄する方式へ変更したが、当初より担当職員の事務量が増加している。		業務内容の見直しが必要。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	3				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	本山公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	2	本山公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。		地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。		定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数			参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		103 %
21(クラブ)	22(クラブ)	8,000(人)	8,290(人)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.6	846,720

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	4	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	赤崎公民館クラブ活動支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	3	赤崎公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)		自治事務		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	95%
29(クラブ)	27(クラブ)	10,000(人)	9,595(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	846,720				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート				課名	中央公民館		No	5	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		3	社会教育活動の充実	
事業名	須恵公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	4	須恵公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	108 %
28(クラブ)	33(クラブ)	6,400(人)	6,941(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	846,720				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	6	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	小野田公民館クラブ活動支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	5	小野田公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標		成果指標	
クラブ数		参加のべ人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
33(クラブ)	33(クラブ)	11,000(人)	10,968(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			99%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	846,720				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート				課名	中央公民館		No	7	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		3	社会教育活動の充実	
事業名	高泊公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	6	高泊公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	106 %
16(クラブ)	18(クラブ)	6,500(人)	6,939(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	846,720				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央公民館	No	8
----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	高千帆公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	7	高千帆公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	102 %
37(クラブ)	35(クラブ)	14,000(人)	14,181(人)	

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財(源割内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		0.6	846,720						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央公民館	No	9
----	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	有帆公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	8	有帆公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	105%
25(クラブ)	30(クラブ)	8,000(人)	8,452(人)	

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財源(割内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.6	846,720

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	10				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3 社会教育活動の充実				
事業名	厚狭公民館クラブ活動支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	33	厚狭公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
クラブ数		参加のべ人数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	92 %
35(クラブ)	35(クラブ)	13,600(人)	12,494(人)	

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財(源割内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		0.6	846,720						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名	中央公民館	No	1
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)	
15 家庭や地域社会の教育力の向上	1 社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名 出合公民館クラブ活動支援事業			
款	10 教育費	項	5 社会教育費
目	1 公民館運営事業	細々目	34 出合公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)		自治事務	()
		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標		成果指標	
クラブ数		参加のべ人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
15(クラブ)	16(クラブ)	6,000(人)	6,125(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			103%

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財源(内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		0.6	846,720						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	2	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	厚陽公民館クラブ活動支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	35	厚陽公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標		成果指標	
クラブ数		参加のべ人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
19(クラブ)	16(クラブ)	4,000(人)	4,214(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			105%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.6	846,720

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート				課名	中央公民館		No	3
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		3	社会教育活動の充実
事業名	埴生公民館クラブ活動支援事業							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	細目	1	公民館運営事業		細々目	36	埴生公民館一般管理費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標		成果指標	
クラブ数		参加のべ人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
28(クラブ)	33(クラブ)	6,900(人)	7,200(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			104%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.6	846,720

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート		課名	中央公民館		No	4
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	津布田会館クラブ活動支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	37	津布田会館一般管理費
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館主催講座を卒業した人たちが自主的に組織したグループ等を公民館クラブとして認定。地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与するために、公民館を定期的を使用し、自主的に学習活動を行っている。	地域社会の文化・教養及び福祉の向上に寄与する。市民の自発的な学習を支援。	定期的に公民館の使用を認める。使用料については減免し、運営に要する費用は会費でまかなう。	
活動指標		成果指標	
クラブ数		参加のべ人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
13(クラブ)	8(クラブ)	2,100(人)	2,162(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			103%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	846,720				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
クラブ員の固定化及び高齢化が進んでいる。	受講生に対して、さらなる学習活動の自主グループ化を促す。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	5	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	本山公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	2	本山公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
55(講座)	62(講座)	1,400(人)	1,374(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			98%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	6	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	赤崎公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	3	赤崎公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
50(講座)	39(講座)	900(人)	853(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			94%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	7	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	須恵公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	4	須恵公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
90(講座)	77(講座)	1,400(人)	1,280(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			91%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	8	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	小野田公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	5	小野田公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
40(講座)	52(講座)	1,400(人)	1,437(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			102%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
合計	0	0	合計	0	0		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	9	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	高泊公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	6	高泊公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
100(講座)	77(講座)	800(人)	756(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			94%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	10	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	高千帆公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	7	高千帆公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
100(講座)	83(講座)	1,600(人)	1,607(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			101%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	1	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	有帆公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	8	有帆公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
45(講座)	44(講座)	750(人)	683(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			91%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財源(内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	2				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3 社会教育活動の充実				
事業名	厚狭公民館主催講座事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	33	厚狭公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。		地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。		地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標			成果指標		
年間延べ講座数			年間延べ受講者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
180(講座)		231(講座)		90	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.7	987,840

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	3				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実			
事業名	出合公民館主催講座事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	34	出合公民館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。		地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。		地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標			成果指標		
年間延べ講座数			年間延べ受講者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
60(講座)		55(講座)		95	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
2,500(人)		2,375(人)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	4	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	厚陽公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	35	厚陽公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	()				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となって、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
100(講座)	88(講座)	2,500(人)	2,480(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			99%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源	()			
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	5	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3	社会教育活動の充実
事業名	埴生公民館主催講座事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	公民館運営事業	細々目	36	埴生公民館一般管理費
事務区分(根拠法令)	()				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。	地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。	地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標		成果指標	
年間延べ講座数		年間延べ受講者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
60(講座)	34(講座)	750(人)	686(人)
			成果指標の到達度(B/A)
			91%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。	利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央公民館		No	6				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	3 社会教育活動の充実				
事業名	津布田会館主催講座事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
	細目	1	公民館運営事業	細々目	37	津布田会館一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
公民館における社会教育推進を図るため、成人講座、女性講座、青少年講座、家庭教育講座、高齢者講座、親子講座、人権教育講座、歴史講座、パソコン講座など市民のニーズにあった講座を開設。		地域課題を解決するため、地域の学習拠点施設である公民館が主体となつて、必要な講座・教室を開催し、地域住民の学習を支援する。		地域住民の生涯学習ニーズを把握し、講座を企画。受講生の募集を公民館だより、楽集、市ホームページ等で行う。	
活動指標			成果指標		
年間延べ講座数			年間延べ受講者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
35(講座)		36(講座)		104	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
450(人)		466(人)			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	120,800	120,800	財源(割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	120,800	120,800
合計		120,800	120,800	合計		120,800	120,800
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	987,840				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
一部内容のマンネリ化。受講生の固定化がみられる(公民館運営審議会意見)。また若い世代の受講者が伸び悩んでいる。		利用者にアンケート等を行い利用者のニーズの把握に努める。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他	ゼロ予算事業		

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	32-2		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	4	学校教育と社会教育の連携				
事業名 学校支援地域本部事業									
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>国の100%委託事業として実施(平成20年～22年度)23年度以降、「放課後子ども教室事業」「家庭教育支援事業」とともに統合され、3分の2の補助事業となる。旧小野田市ではじまった「学校ボランティア」とは違い、配置されたコーディネーターが学校のニーズを把握、地域の人材バンクからボランティアを派遣する制度。23年度は8小中学校が実施している。(厚狭中、植生中、小野田中、厚陽中、厚陽小、高泊小、有帆小、津布田小)24年度から全小中学校で実施</p>		<p>学校に地域の人たちが関わることにより、「地域の子どもは地域で育てる」という意識も醸成される。学校支援を通じ、地域力の向上を図る。協働のまちづくりの礎を築く事業として期待されている。</p>		<p>配置したコーディネーターが学校のニーズを受けて、地域ボラ学習支援、登下校の見守り活動、庭木の剪定、花壇整備など、学校・児童、生徒周辺の支援活動全般を引き受ける。多忙な教師に教育に専念できる環境を提供するという側面も大きい。3.11大震災後、学校支援本部の有無が避難所生活の運営に影響を与えたとの検証もある。子供・学校を通じて、地域の連帯感を作り出すという側面が評価されている事業である。</p>	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
地域ボランティア登録人数			実施校数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		44%
500(人)	449(人)	18(校)	8(校)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	3,149,000	2,668,905	財(源割内訳)	国庫支出金(1/3)	1,050,000	889,000
					県支出金(1/3)	1,050,000	890,000
					地方債()		
					その他()		
合計	3,149,000	2,668,905	一般財源(1/3)		1,049,000	889,905	
合計		3,149,000	2,668,905	合計	3,149,000	2,668,905	

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	1812300

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
<p>24年度から全小中学校で実施。既実施校との事業に対する取り組みの温度差を埋めるべく、教育委員会でサポートをしていく必要がある。23年度から学校支援地域本部、家庭教育支援の3事業(地域協育ネット)での補助事業となった。地域教育ネットとしての事業展開をすすめていく必要がある</p>	<p>公民館に事務局をおくなど、先進例を参考にして、事業の実施体制を改善する必要がある。地域住民の事業への理解も必要。</p>

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	32-3	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	15	家庭や地域社会の教育力の向上		1	社会教育の充実		4 学校教育と社会教育の連携	
事業名 放課後子ども教室推進事業								
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	細目	1	社会教育管理業務		細々目	1	社会教育一般管理費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
<p>学校外の居場所づくりをすすめる放課後子どもプラン事業は、児童クラブ事業と放課後子ども教室事業の二つの柱からなる。社会教育課は放課後子ども教室事業を所管する。23年度から学校支援地域本部、家庭教育支援との3事業(地域協育ネット)での補助事業となる。</p>		<p>市と契約したコーディネーター(各校区に配置)が教室の企画運営を行い、地域の安全管理員がボランティアで参加し、子どもとともに活動を行う。平成20年度から児童館のない山陽地区の厚狭小学校、厚陽小学校で、22年度から埴生小学校、23年度は出合小学校でスタートした。24年度からは津布田小学校で実施予定。実施日を水曜日(月2回)あるいは土曜日。実施場所は、小学校、または公民館。平日開催の教室は児童クラブとの連携を図る。</p>		<p>放課後や週末等に学校体育館、公民館を利用して、地域の様々な資質を有する多くの市民の参画により、体験・交流・学習活動の場として放課後子ども教室を開催する。</p>	
活動指標			成果指標		
実施回数			児童数に対する参加者の割合		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		90 %
52(回)	57(回)	10(%)	9(%)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費・旅費	961,000	1,059,000	財(源)割内訳	国庫支出金 (1/3)	917,000	724,000
	需用費	180,000	208,420		県支出金 (1/3)	917,000	724,000
	役務費	213,000	216,000		地方債 ()		
	備品購入費	100,000	87,000		その他 ()		
	委託料	1,296,000	601,000		一般財源 (1/3)	916,000	723,420
合計		2,750,000	2,171,420	合計		2,750,000	2,171,420
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.6	3,624,600				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
<p>[地域の子どもは地域で育てる]との意識の醸成のため、事業の趣旨を地域の方にもっと知ってもらい、安全管理員として実際に参加してもらい、安全確保を図る必要がある。また23年度から学校支援地域本部、家庭教育支援の3事業(地域協育ネット)での補助事業となつた。地域教育ネットとしての事業展開をすすめていく必要がある</p>		<p>公民館を通じて、利用者へのPRを行い、参加者を広める努力をするとともに、学校支援本部事業ボランティアなどに働きかける。</p>	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		生涯学習係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	4	学校教育と社会教育の連携			
事業名	地域活動体験事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
家庭や地域の教育力の低下に伴い、子どもたちの生活体験や自然体験が乏しくなっている一方で、学校教育では、これからの変化の激しい社会にあって自ら学び、自ら考えるという「生きる力」の育成が求められている。	学校教育と社会教育の連携を図り子どもたちに対して、生活体験や、自然体験、職場体験などの体験活動の充実を図る。	体験活動の実施(ほたる祭り開催に伴うボランティア活動)。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
体験活動実施回数		参加者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	60 %
1(回)	1(回)	15(人)	9(人)	

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財(源割内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		0.05	302,050						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
年々参加者が減少している。	関係団体等と協議しながら募集方法について検討をする。また新たな活動の場についても検討する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	ゼロ予算事業

平成23年度 事務事業評価シート

課名		中央図書館		No	1	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	15	家庭や地域社会の教育力の向上	1	社会教育の充実	4	学校教育と社会教育の連携
事業名	学校図書館支援事業					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	001	図書館運営業務	細々目	01	中央図書館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
子どもの読書離れが懸念される中、文部科学省で平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、翌年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定された。平成16年10月に「山口県子ども読書推進計画」が策定され、本市では、平成18年9月に「山陽小野田市子ども読書活動推進計画」が策定された。この中の施策の一つとして「子ども読書推進班(学校図書館支援チームに改称)」を中央図書館に設置し、図書館から小中学校へ出向き、児童・生徒の読書活動の推進を図るため、出前図書館や団体貸出サービスを継続実施している。		対象：市内小中学校の児童・生徒 目的・意図：児童・生徒が良い本と出会え、読書習慣を身につけられるように読書環境を整え、読書活動の向上を図る。		図書館職員が市内小中学校を巡回し、児童・生徒を対象として、図書館の説明、推薦図書の紹介、本の読み聞かせ、ブックトーク、本の閲覧・貸出を多目的ルームや体育館で実施する。また、担当教諭に対して図書室運営の助言も併せて実施する。なお、図書の数は、対象学年の児童・生徒1人あたり当面2冊程度として担当教諭に人数を確認して配本車両で配送する。	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
配本冊数		1人あたり冊数		97%	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		
2,600(冊)	7,949(冊)	2.3(冊)	2.22(冊)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	9,000	9,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100%)	9,000	9,000
合計		9,000	9,000	合計		9,000	9,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.1	4,408,622				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
・十分な図書購入費がないため、児童・生徒が、すぐ手に取り興味を持つような本が、購入できていない。		・児童・生徒たちの希望も聞きながら、学校に本を届ける。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			